

【第3号議案】

平成23年度事業計画書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

事業名	事業内容
会報	<ul style="list-style-type: none"> ・エスコフィエ通信の定期発行（年4回 4、7、11、1月） 協会創立40周年記念増刊号の発行（5月）いずれも発行部数2,600部。 会員及び一般に広くフランス料理に関する情報を伝える。
出版	<ul style="list-style-type: none"> ・『エスコフィエの技 現代の術』の販売を通じて若手料理人の育成を目指す。エスコフィエの料理技術の保存及び技術向上。 600部販売予定。 ・『フランス料理用語辞典』中国語版の販売。国際面での技術の伝播。
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにフランス料理に関する最新の情報及び協会活動を紹介する。 ・マスメディアに活動の取材、記事掲載を促進。
震災被災地 支援活動	<ul style="list-style-type: none"> ・3月11日に起きた東日本大震災、及び原発事故の被災者に対する支援活動を行う。 ・第一段階として、宮城県南三陸町、同県山本町など中小規模の被災地に保存のきく食品や飲料の支援物資を届ける。 ・第二段階として、被災地の受け入れ状態を探りながら、また他の料理団体との協力体制を検討しつつ、「炊き出し」等の支援活動を実施する。
講習会・講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・例年総会当日にフランス料理の技術・文化・歴史に関する講演会と最新技術の発表会を兼ねた食事会を開いていたが、3月11日の東日本大震災の影響を考慮し中止した。よってメインの活動は今年度に限り行わない。
料理フランス語 通信教育	<ul style="list-style-type: none"> ・『料理フランス語通信講座』の実施。 春・秋・冬期の年3回開講。年間35名の受講生を想定。 ・企業の研修担当者・料理長に、より詳しい理解を得る為の販促活動をする。 ・ホームページ・会報に受講者のインタビュー記事・受講生募集を掲載する。 ・各ホテルの通信講座パンフレットに広告・募集を掲載する。 ・インターネットのスカイプを活用したスクーリングを開始予定。
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・フランスのディシプル・エスコフィエ（エスコフィエ世界連盟本部）エスコフィエ財団及びスイス、中国をはじめとする外国のエスコフィエ協会との交流。 ・フランス駐在代表による情報収集活動。 ・今年度に限り世界連盟と財団への寄付免除の了解を得た。
フランス料理 勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・ル・ギード・キュリネールを柱にしたフランス基本料理の検証。（年2回実施予定） ホームページ及び会報に掲載し、会員及び一般に報告する。 ・研究発表会（講習会形式）の開催。（1～2年に1度） 受講対象は、会員、会員所属企業の若手料理人、賛助会員の調理師学校生徒、料理に興味を持つ一般人。参加費は材料費実費程度。 ・前年度より勉強会参加登録制度を設け、参加者の幅を広げている。

『母と子のキャンプ』 調理指導	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の寡婦連合会等との連携によるキャンプ料理指導。 ・予定 平成23年7月に福岡県夜須高原にて 平成23年9月に日高にて 平成23年10月に徳島にて ・開催場所周辺の地区委員・会員の協力を得て行う。
社会福祉食事会	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の不自由な方と介助の方を対象とした食事会。 ・年2回（東西各1回）ホテルにて開催予定 平成23年7月 大津プリンスホテルにて 平成22年10月頃 水戸プラザホテルにて（被災地支援活動に変更の可能性あり） ・各テーブルに会員が同席し、美味しく、かつ楽しい食事会を演出。 ・参加者からの若干の参加費と協会の補助とによって実施、会場となるホテルには全面的な協力を得て開催。
親睦事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入会者の受付と会員証（ディプロム、エンブレム）などの送付。 ・会員名簿の制作と発行。（10月発行） ・優秀な会員にディシプル章資格を授与。 ・団体賛助会員である調理師学校の成績優秀生徒1名に「エスコフィエ協会優秀奨励賞」のディプロムを授与。
受託事業 「TEPCO 電化厨房 エスコフィエ」 の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・東京電力㈱の委託により東京リビングサービス㈱との契約に基づくメゾン・オノ1階のオール電化厨房「TEPCO 電化厨房エスコフィエ」において、電化厨房普及のためのセミナーを実施してきたが、原発事故の影響で節電が推奨されているため方向を変えた活動とする。 ・セミナーの目的を、電化厨房をより効率的に活用するためのものとし、PR活動は積極的には行わず、先方の要請があった場合に実施するものとする。常勤の専門スタッフは置かず、事務局員が兼任で対応する。

- (注1) 3月11日の東日本大震災の影響により、事業全体の見直しを行った。事業の一つに新たに「震災被災地支援活動」を加えた。
- (注2) 平成22年度までは「会報」「出版」は一つの事業としてきたが、今年度から経理的理由により二つの事業に分割した。
- (注3) 平成21年度まで実施し、22年度は中断していた「料理フランス研修留学事業」は、諸般の事情により協会の事業として実施できなくなったため、事業から外した。21年度まで事業共催者であった「日仏料理協会」が進める留学事業を、「推薦」というかたちで対応する。